医薬品原薬から製剤まで

# DAITO

2021年5月期第2四半期 決算説明資料

2021年1月20日(水)

ダイト株式会社

東証一部:4577



- I. 会社概要 P 3
- Ⅱ.成長戦略と進捗状況 P 7
- Ⅲ. 第2四半期決算概要と通期予想 P 20

参考資料 P 32

# D/IITO

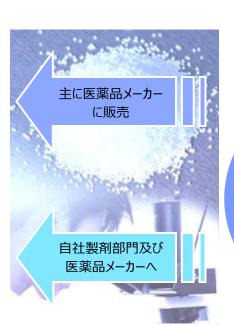
# I. 会社概要

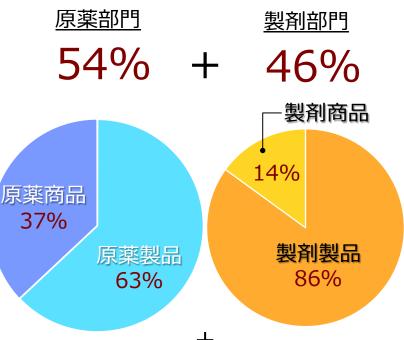
# ビジネスモデル



# 原薬から製剤までの生産体制をベースに、 高品質な製品・商品両方の展開で顧客ニーズに対応

### 部門別売上構成(2020年5月期)







その他部門 (健康食品など)

1%

注:製品とは、自社グループにて製造し品質保証をしているもの 商品とは、他社から仕入れ販売しているもの

注:丸め処理のため、各セグメントの合計値は100%にならない ことがある。

4

# 当社ビジネスモデルの特長



#### 原薬と製剤のコラボレーション

- 原薬・製剤それぞれの営業部門の情報を共有化し、高い情報収集・提供能力を発揮
- 自社(グループ企業も含む)原薬から製剤まで製造することにより高品質と低コストを実現
- 原薬・製剤の開発データの共有化によって、より市場ニーズに合った製品の開発が可能

### 医薬品製造への資源集中

- 販売並びに開発に掛ける費用を抑えることにより、 医薬品の製造に経営資源を集中
  - ⇒ 独自にMRは持たず、固定費の抑制
  - ⇒ 開発品目はジェネリックの原薬及び製剤のみであり、新薬に比べて開発リスク及び開発コストが低い

#### 幅広い生産品目

- ジェネリック医薬品のみならず、新薬や長期収載品の受託製造、OTC薬の製造まで幅広くカバー
  - ⇒ 多数の品目カテゴリーを製造販売することにより、 市場の成長の幅広い取り込みが可能
  - ⇒ 大手メーカーの製造受託に応えることにより、 高レベルな品質・製造のノウハウを保有

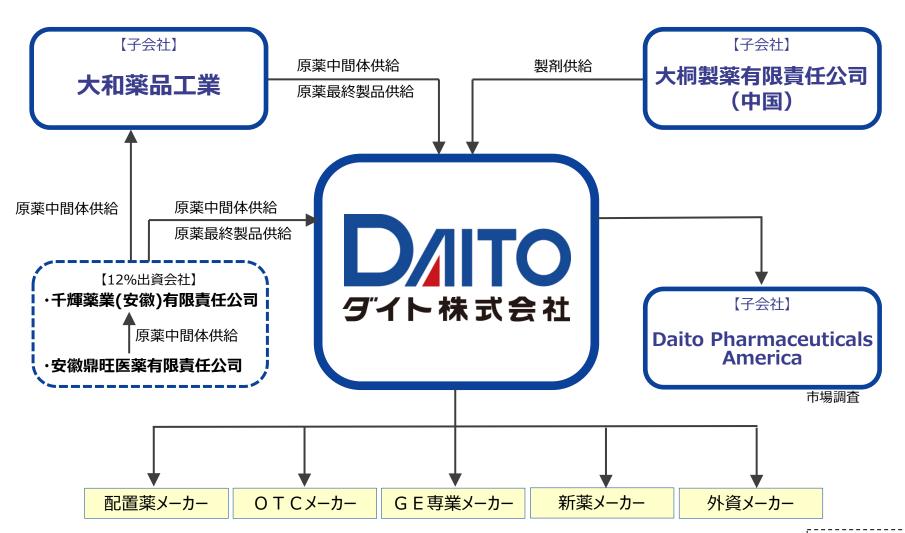
### 商社機能の充実

- 自社で生産していない品目であっても、国内外における独自のネットワークで他社から仕入し販売を行う
  - ⇒ ダイトは元々商社であるため、仕入のネット ワークが構築されている。 販売先が必要な情報の提供を行うソリューション ビジネスを展開

# 他社にはない独自のビジネスモデルを形成

# 当社グループ







# Ⅱ. 成長戦略と進捗状況

# DAITO

### 成長戦略のフレーム

市場の追い風と高度な製造技術をベースに、業界ポジション確立に向けた投資を継続し、

方数四江州の北、人田田七回フ

高薬理活性領域への展開も図る。

#### 良好な 外部環境

- ▼高齢者の増加
- ▼ジェネリック市場 の拡大

#### 高品質な 生産体制

- **▼**GMP
- **▼**DMF
- **▼EDMF**

#### 国内外での 積極投資

- ▼子会社を含めて、最適 な生産体制を構築す るための設備投資と R&D
- ▼中国生産拠点への 投資
- ▼米国法人の機能強化
- ▼海外メーカーとの連携 強化

• GMP : 医薬品等の製造管理・品質管理基準

• DMF : 原薬等登録原簿のことで、原薬の製造方法のノウハウを

登録することで、競争上の地位の確保を図ることができる。

● FDMF: ∃ーロッパの原薬等登録原簿



### 重点施策



#### 既存ビジネス

●当面、重点的に強化していく課題

「研究開発の強化」

(研究開発費:対売上比で3~5%水準)

(高薬理活性領域も着手)

「開発・生産能力増強投資を継続」(安定供給·品目拡大)

第七原薬棟:2022年3月竣工予定

### 「生産効率化の推進」

#### 新規ビジネス

●中長期的な成長に向けての布石

「高薬理活性製剤への注力・拡充及び海外展開」

第八製剤棟: 1ライン目:2020年3月 商用生産開始

2ライン目:2020年12月竣工

# D/IITO

# 研究開発の成果 ①ジェネリック原薬

### ジェネリック原薬2021/5期と2022/5期の上市品

● 2021/5期の主な上市品

(2020年6月の新規販売分)

薬効	品名
アレルギー性疾患治療剤	レボセチリジン
アルツハイマー型認知症治療剤	メマンチン
非ステロイド性消炎・鎮痛剤	セレコキシブ

(2020年12月の新規販売分)

薬効	品名
疼痛治療剤	プレガバリン

# 研究開発の成果 ②ジェネリック製剤



#### ジェネリック製剤2021/5期と2022/5期の上市品

#### ●2021/5期の主な上市品

(2020年6月の新規収載分)

一般名 (規格·単位)	薬効	先発品名	販売会社
セレコキシブ錠 (100mg/200mg)	非ステロイド性 消炎・鎮痛剤	セレコックス錠 (アステラス製薬)	共和薬品工業
レボセチリジン塩酸塩錠 (5mg)	アレルギー性疾患 治療剤	ザイザル錠 (グラクソ・スミスクライン)	サンド
エゼチミブ錠 (10mg)	高脂血症治療剤	ゼチーア錠 (MSD)	日本ケミファ
メマンチン塩酸塩OD錠 (5mg/10mg/20mg)	アルツハイマー型 認知症治療剤	メマリーOD錠 (第一三共)	フェルゼンファーマ
ラベプラゾールナトリウム錠 (5mg)	プロトンポンプ 阻害剤	パリエット錠 (エーザイ)	科研製薬

#### (2020年12月の新規収載分)

一般名 (規格·単位)	薬効	先発品名	販売会社
プレガバリンOD錠 (25mg/75mg/150mg)	疼痛治療剤	リリカOD錠 (ファイザー)	科研製薬

#### ●2022/5期の主な上市品

(2021年6月の新規収載分) 1成分2規格を新規収載予定 (2021年12月の新規収載分) 1成分2規格を新規収載予定

### 生産体制最適化への取り組み



#### 原薬

当社及び子会社の大和薬品工業㈱、関係会社の千輝薬業(安徽)有限責任公司、安徽鼎旺医薬有限責任公司で生産。

### 製剤

当社及び子会社の大桐製薬(中国) 有限責任公司で生産。

(注) 赤文字は重点施策

#### 原薬事業の生産体制 製剤事業の生産体制 第八製剤棟新設 ダイト(株) ダイト(株) 生産能力増強 (高薬理製剤棟) (第七原薬棟 2ライン目の増設 (2020年12月竣工) 2022年3月 竣工予定) 原薬中間体の供給 原薬中間体の供給 原薬最終製品の供給 製诰委託 製剤輸入 最適な生産体制 ・千輝薬業(安徽) 大和薬品工業㈱ 大桐製薬(中国)有限責任公司 有限責任公司 ·安徽鼎旺医薬 有限責任公司 原薬中間体の供給 原薬最終製品の供給 生産能力増強

# DAITO

# 当社グループにおける生産能力増強投資

# 原薬

#### 本社

#### 第七原薬棟 (完成予想図)

(2022年3月竣工予定)



・投資額 約35億円

·建設工期 2021年3月着工、2022年3月竣工予定

·生産能力 従来比+10%増

·稼働開始 2022年8月 商用生産開始予定

# DAITO

# 高薬理活性製剤への投資

#### 本社

#### 高薬理R&Dセンター

(2017年6月 竣工)



•投資額 約17億円

·建設工期 2016年8月 着工

2017年6月 竣工

・機能と目的

当社の成長戦略に据えております、高薬理活性領域における製剤及び原薬の研究開発体制の整備・強化を図ります。また、小規模スケール(1~10kg)の製剤製造設備を備えており、大手メーカーの治験薬製造受託や自社ジェネリック品の開発などを積極的に行います。

#### 本社

#### 第八製剤棟

(2018年11月 竣工、2020年12月 2ライン目竣工)



・投資額 約35億円(建屋, 1ライン目)、約20億円(2ライン目)

•建設工期 2017年10月 着工

2018年11月 建屋と1ライン目設備竣工

2020年3月 商用生産開始 2020年12月 2ライン目の竣工

・機能と目的

既存の第七製剤棟と合わせ、高薬理活性領域における製剤の製造体制を強化します。第八製剤棟では第七製剤棟よりもスケールが大きい10ットあたり50~100kg程度の製剤を製造いたします。これにより、小・中・大スケールの製造設備を保有することになります。

# 高薬理活性製剤への注力



#### 高薬理活性製剤への対応の軌跡

- 2014年12月の第七製剤棟竣工により高薬理活性製剤を内製化。 第八製剤棟の竣工(2018年11月)によって、小規模から大規模までの製剤の生産体制を確立。
- 第八製剤棟 2ライン目の竣工(2020年12月)によって更なる増産要求に対応可能に。

2014年12月	第七製剤棟 竣工	<b>中規模スケール</b> (1ロットあたり15kg~30kg)	の製剤を製造
	+		
2017年6月	高薬理R&Dセンター 竣工	<b>小規模スケール</b> (1ロットあたり1kg~10kg)	の製剤を製造
	+		
2018年11月	第八製剤棟 竣工(1ライン目)	大規模スケール(1ロットあたり50kg~100kg)	の製剤を製造
	+		

2020年12月 第八製剤棟 2ライン目竣工

大規模スケール (1ロットあたり50kg~100kg) の製剤を製造

#### 高薬理活性剤とは・・・

ある種のステロイド類、抗がん剤のように、少量で人体に強い薬効を与えるもの又は毒性を有する物質等

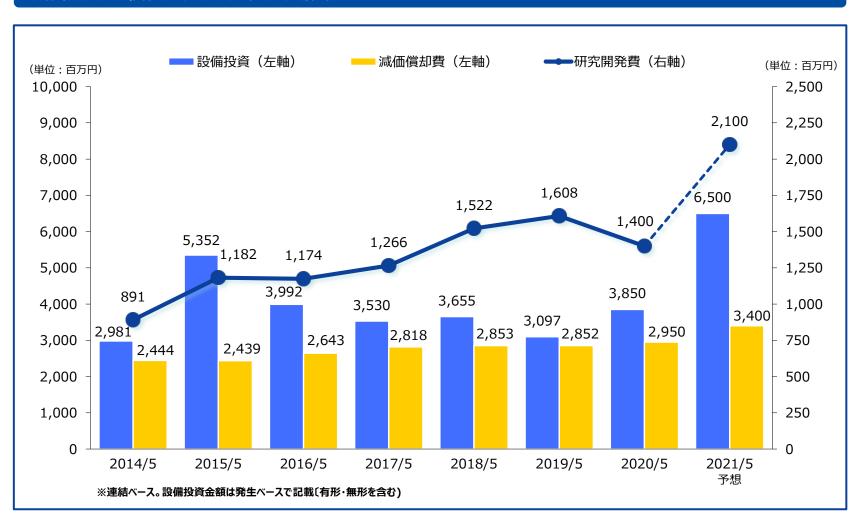
(引用) 一般社団法人製剤機械技術学会 ウェブサイト

- 薬理活性が高い物質(体重1Kgあたり約15µg以下で生物学的活性を有する/治療用量1mg以下)
- 職業曝露限界(OEL\*)が空気1立方メートルあたり10µg以下の物質
- 発がん性物質、催奇形性又は生殖・発生毒性物質、低用量での臓器毒性物質、遺伝毒性物質 など※OEL: Occupational Exposure Limit. 健康維持の観点から作業者の曝露レベルを制限するために決められる空気中の限界濃度

# 設備投資額・研究開発費の推移



#### 設備投資·減価償却費·研究開発費推移



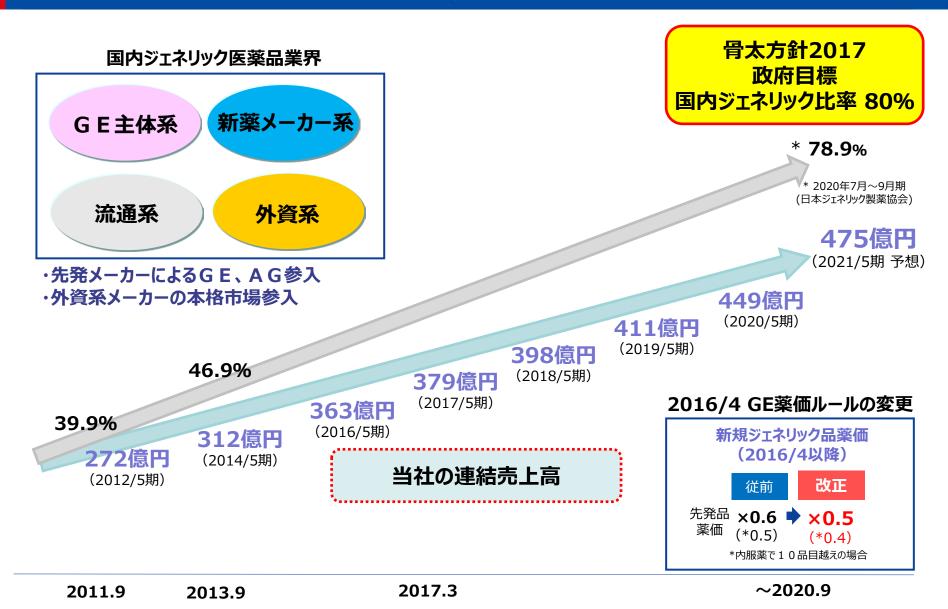
# グローバル展開





# DAITO

# 国内ジェネリック医薬品を取り巻く環境





生産体制の最適化に取り組み、高品質・低コストを武器に、国内およびグローバル展開への布石をうつ

- > 高薬理活性固形剤の生産体制拡充
- > 低コスト原薬製造プロセスなどの開発
- > ジェネリック原薬、製剤の開発加速



# Ⅲ. 第2四半期決算概要と通期予想

# 決算ハイライト



- ●前年同期比12.0%増収、営業利益24.1%増益、経常利益23.6%増益と、売上 高の増加に伴い、好調な結果。
- ●利益率等の指標においても、売上高営業利益率1.3pt改善、売上高経常利益率1.3pt改善し、EPSも18.81円増加した。 (単位: 百万円、%)

	2020/5	朝 2Q	2021/5期 2Q		前期比均	曽減
	金額	百分比	金額	百分比	金額	%
売 上 高	23,253	100.0	26,035	100.0	+2,781	+12.0
営 業 利 益	2,829	12.2	3,512	13.5	+682	+24.1
経 常 利 益	2,875	12.4	3,555	13.7	+679	+23.6
親会社株主に帰属する四 半期純利益	2,002	8.6	2,423	9.3	+420	+21.0
E P S (円)	159.48	_	178.30	_	+18.81	_
配 当 金 ( 円 / 株 )	20.00	_	23.00	_	+3.00	_
研 究 開 発 費	607	_	911	_	+303	_
減価償却費	1,416	_	1,420	_	+3	_
設 備 投 資 額	869	_	2,711	_	+1,841	_

### 部門別売上高



- 原薬は、製品のGE原薬が好調、商品は通期予想どおり減収となった。
- ●製剤は、製品のGE医薬品が好調、長期収載品の製造受託が堅調、一般用医薬品が堅調に推移した。
- ●健康食品は、堅調に推移した。

(単位:百万円、%)

	2020/5期 2Q		2021/5期	2Q	前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
原薬	12,979	55.8	13,788	53.0	+808	+6.2
製品	8,060	34.7	9,434	36.2	+1,374	+17.0
商品	4,919	21.2	4,354	16.7	△ 565	△ 11.5
製剤	10,135	43.6	12,093	46.4	+1,958	+19.3
製品	8,699	37.4	10,670	41.0	+1,971	+22.7
商品	1,436	6.2	1,423	5.5	△ 13	△ 0.9
健康食品他	138	0.6	154	0.6	+15	+11.3
売上高合計	23,253	100.0	26,035	100.0	+2,781	+12.0

# 要約損益計算書



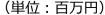
(単位:百万円、%)

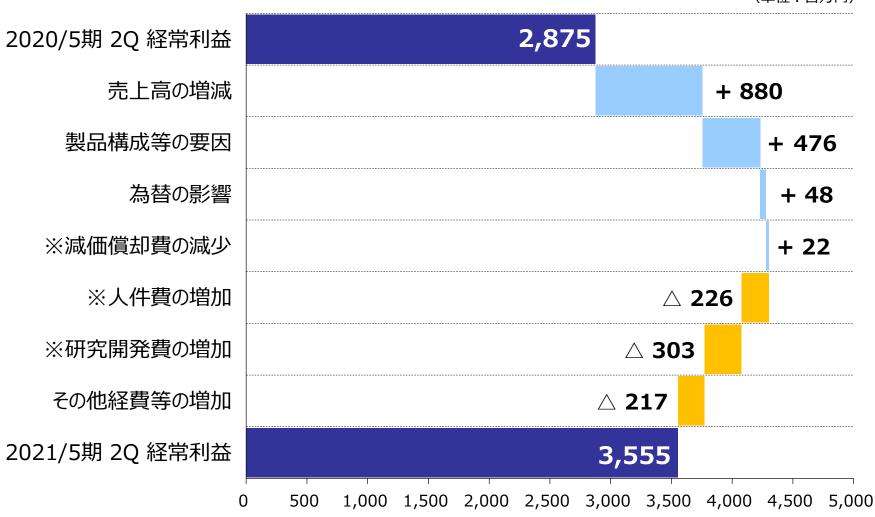
	(丰臣:口川八/0)						
	2020/5期 2Q		2021/5	期 2Q	前期比	2増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	%	原価率 ●製品の構成比率上昇、商品
売 上 高	23,253	100.0	26,035	100.0	+2,781	+12.0	構成比率減少の結果、原価率 は2pt改善
売上原価	18,495	79.5	20,190	77.5	+1,694	+9.2	
売上総利益	4,758	20.5	5,845	22.5	+1,086	+22.8	
販 管 費	1,928	8.3	2,332	9.0°	+404	+21.0	ー 販管費
営 業 利 益	2,829	12.2	3,512	13.5	+682	+24.1	●研究開発費303百万円増加、 人件費74百万円増加の影響 で、販管費は404百万円増加
営業外損益	45	0.2	43	0.2	△ 2	_	CV/MCL/2008-10-12/31/3-13/8
経 常 利 益	2,875	12.4	3,555	13.7	+679	+23.6	
特別損益	87	0.4	△ 5	△ 0.0	△ 93	_	●2020/5期にあった、投資有価 証券売却益110百万円の影
税引前利益	2,963	12.7	3,549	13.6	+586	+19.8	響により今期は減少
法人税等	974	4.2	1,136	4.4	+161	+16.6	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,002	8.6	2,423	9.3	+420	+21.0	

<sup>※</sup>売上原価には、返品調整引当金戻入額・繰入額を含む

# 経常利益の増減分析







※研究開発費には、開発部門の減価償却費、及び当該部門の人件費の変動を含む。

# 要約貸借対照表



(単位:百万円)

				(単位:白万円)			
		2020/5末	2020/11末	増減額		売上債権	+ 8.0億円
流	動資産	30,855	32,535	+1,680	_	●受取手形/売掛金	+ 12.1億円
	現金及び預金	3,084	3,189	+105		●電子記録債権	△ 4.0億円
	売上債権*	15,534	16,340	+805		棚卸資産	+ 7.3億円
	棚卸資産	12,130	12,870	+739		●商品及び製品	△ 4.1億円
固	定資産	23,394	24,543	+1,148		●原材料及び貯蔵品	+ 12.1億円
	有形固定資産	19,399	20,712	+1,312			
資	<b>奎合計</b>	54,249	57,079	+2,829		仕入債務	△ 3.0億円
					_	●支払手形及び買掛金	+ 7.0億円
流	動負債	15,054	14,634	△ 420		●電子記録債務	△ 10.0億円
	仕入債務*	8,189	7,880	△ 308 ←		長期有利子負債	△ 5.5億円
	短期有利子負債	1,512	1,237	△ 274		●長期借入金	△ 5.5億円
固	定負債	2,327	1,784	△ 542			
	長期有利子負債	1,581	1,026	△ 554		純資産 ●四半期純利益	+37.9億円 + 24.2億円
負	<b>責合計</b>	17,381	16,418	△ 962		●資本金	+ 9.0億円
純	<b>資産合計</b>	36,868	40,660	+3,792		●資本剰余金	+ 9.0億円

<sup>\*:</sup>電子記録債権、電子記録債務を含み、ファクタリング債権、ファクタリング債務を含まない

### 要約キャッシュフロー計算書



- ●営業 C Fは17億円の受取超過、投資 C Fは22億円の支払超過。
- ●17.9億円の新株発行により、財務 C F は6億円の受取超過。

(単位:百万円)

	2020/5期 2Q	2021/5期 2Q
営業キャッシュ・フロー	2,570	1,719
税引前利益	2,963	3,549
減価償却費	1,416	1,420
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,709	△ 864
棚卸資産の増減額(△は増加)	△271	△ 738
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,239	△ 43
法人税等の支払額	△256	△ 1,239
投資キャッシュ・フロー	△908	△ 2,238
有形固定資産の取得による支出	△1,003	△ 2,248
財務キャッシュ・フロー ※	△791	625
短期・長期借入金のネット収支	△950	829
現金及び現金同等物の期中増減額	860	105
現金及び現金同等物の期末残高	2,679	3,189

<sup>※</sup>第三者割当による行使価額修正条項付第1回新株予約権行使により、2020/5期 2Qでは 4.0億、2021/5期 2Q では 17.9億の収入があった。

### 2021年5月期 業績予想



- ●2021年5月期は、5.6%増収、7.6%営業利益減益の予想。
- ●将来の成長を目指し、設備投資の大幅増額を行うため減価償却費4.4億円増加、 また研究開発費6.9億円増額のため、各段階利益は減益の予想。

(単位:百万円、%)

	2020/5	2020/5期		2021/5期 予想		2021/5期 予想		曽減
	金額	百分比	金額	百分比	金額	%		
売 上 高	44,991	100.0	47,500	100.0	+2,508	+5.6		
営 業 利 益	5,357	11.9	4,950	10.4	△ 407	△ 7.6		
経 常 利 益	5,462	12.1	5,000	10.5	△ 462	△ 8.5		
親会社株主に帰属する当 期 純 利 益	3,944	8.8	3,400	7.2	△ 544	△ 13.8		
E P S (円)	309.66	_	252.96	_	△ 56.69	_		
配 当 金(円/株)	46.00	-	46.00	_	±0.00	_		
研 究 開 発 費	1,400	-	2,100	_	+699	_		
減 価 償 却 費	2,950	_	3,400	_	+449	_		
設 備 投 資 額	3,850		6,500		+2,649	_		

<sup>※</sup>研究開発費には、開発部門の減価償却費、及び当該部門の人件費の変動を含む。

# 2021年5月期 部門別売上予想



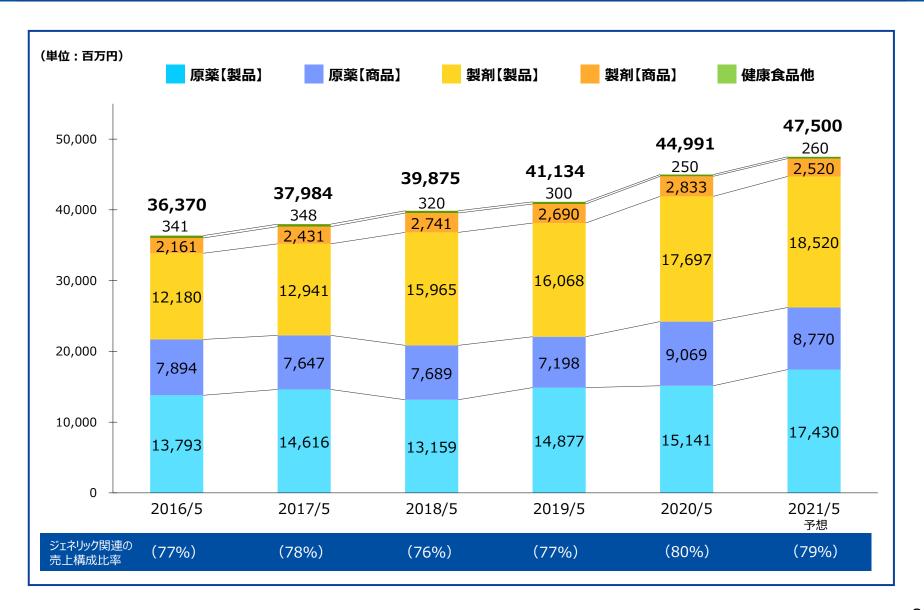
- ●原薬は、GE医薬品向けの伸長や国産原薬の引き合いにより製品の増収を見込み、 一方で前期に発注の多かった大型商品の減収を見込む。
- ●製剤は、薬価改定で厳しい環境だが、GE市場拡大で製品の堅実な増収を見込み、 一方で商品は競争の激化で減収を見込む。

(単位:百万円、%)

	2020/5期 2021/5期		月予想	前期比均	<b></b>	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
原薬	24,211	53.8	26,200	55.2	+1,988	+8.2
製品	15,141	33.7	17,430	36.7	+2,288	+15.1
商品	9,069	20.2	8,770	18.5	△ 299	Δ 3.3
製剤	20,530	45.6	21,040	44.3	+509	+2.5
製品	17,697	39.3	18,520	39.0	+822	+4.7
商品	2,833	6.3	2,520	5.3	Δ 313	Δ 11.1
健康食品他	250	0.6	260	0.5	+9	+4.0
売上高合計	44,991	100.0	47,500	100.0	+2,508	+5.6

# D/IITO

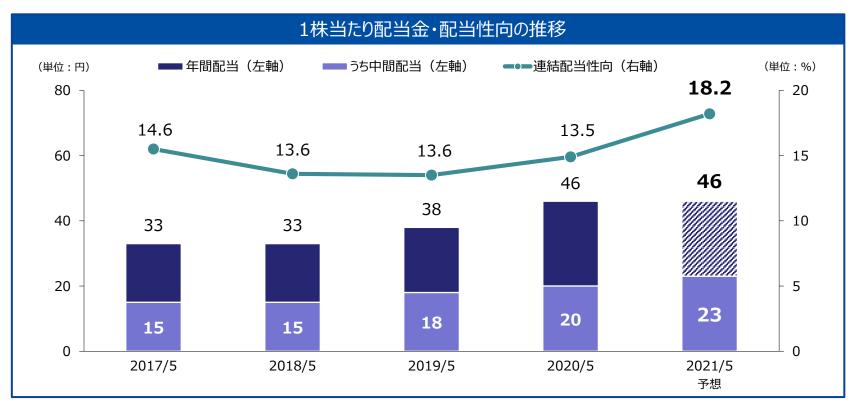
# 部門別売上高の推移と予想



### 配当予想



- ●当社は、事業価値の持続的増大と、それによる株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として位置づけております。
- ●利益還元は、当該期の業績に加え、今後の成長投資や財務体質の強化を考慮し、 安定的な配当実施を重視しております。
- ●2021/5期の年間配当金は、1株当たり46円を予定しております。



(注) 2017年5月期の配当金33円には記念配当3円を含む。2020年5月期の配当金46円には記念配当6円を含む。

# 新型コロナウイルス(COVID-19)の影響について

- ●輸入品に若干の納期遅延が発生しているものの、現時点での業務への影響は軽微です。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を適切に予想するのは、現時点では難しいことから、2021/5期の業績予想には、新型コロナウイルスの影響を織り込んでおりません。
- 今後の状況により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせ致します。

状況を注視しながら、お客様、地域の方々、及び従業員の安全を最優先に、業務に取り組んで参ります。

# **D/IITO**

# 参考資料

# プロフィール



社 名: ダイト株式会社

本社所在地 : 富山県富山市八日町326番地

**設立年月**: 1942年6月

決算期: 毎年5月末

代表 者: 代表取締役社長 大津賀 保信(おおつが やすのぶ)

**従業員数**: 804名(平均臨時雇用者数54名 外数) ※連結、2020年11月30現在

事業内容: 原薬及び製剤の製造販売・製造受託・仕入販売、健康食品等の販売

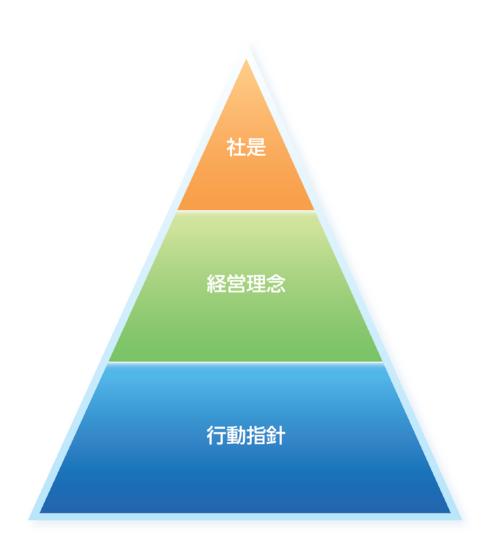
子 会 社: 大和薬品工業株式会社 (原薬の製造)

Daito Pharmaceuticals America, Inc. (原薬・製剤の輸出業務支援)

大桐製薬(中国)有限責任公司 (中国での製造)

# 社是·経営理念·行動指針





#### 社是

### 創造 闘志 誠実

- 一、アイデアをもち考える人間
- 一、実行力と根性のある人間
- 一、自分は企業を守る人間

#### 経営理念

社員が「楽しい会社、楽しい仕事」を実感できる 働きやすい職場を作り、健康な社会作りに貢献し、 選ばれ続ける企業を目指します。

- ●「楽しい会社」とは 社員自らの成長と会社の成長が連動し、いきいき と楽しく仕事が出来る会社
- 「楽しい仕事」とは 病を治したい患者さんや健康を求めるお客様に 役立つように、社会に対して製品を供給する喜び を味わえる仕事

### 社是·経営理念·行動指針



#### 行動指針

経営理念のもと、選ばれ続ける企業を目指します。



● 誠実な姿勢

法令を遵守し、公正、公平に活動します

● みなさまからの信頼更なる品質の向上とお客さまへの確実な供給を行います

● 社会への貢献

日々の活動を通し、みなさまを支えます

● 環境との調和

環境に配慮し、地球とともに歩みます

● 更なる挑戦

新たな分野、新たな技術へ挑戦します

● 世界への飛躍

世界を舞台として優れた医薬品を提供します

# 沿革



1942年	6月	富山家庭薬の東南アジアへの輸出統制会社 として大東亜薬品交易統制株式会社を設立 ※1991年 ダイト株式会社(現社名)に商号変更
1949年	3月	配置用医薬品製造を開始
1950年	6月	原薬卸業部門を開設し、原薬の販売を開始
1963年	5月	大阪市東区に大阪営業所を新設 ※1973年12月 大阪支店に昇格。1987年8月 中央区に移転
1965年	4月	東京都千代田区に東京営業所を新設 ※1970年9月 東京支店に昇格
1976年	10月	医療用医薬品(ジェネリック医薬品)の製造を開始
1979年	11月	原薬の製造を開始
1985年	4月	OTC医薬品の製造を開始
1987年	7月	大和薬品工業株式会社を子会社化 ※2007年10月 株式交換により完全子会社化
1989年	10月	原薬の新薬中間体の受託製造を開始
2001年	9月	医療用医薬品の受託製造を本格的に開始
2007年	11月	米国イリノイ州に駐在員事務所を設置 ※2008年6月 廃止
2008年	6月	Daito Pharmaceuticals America, Inc.設立
2010年	3月	東京証券取引所市場第2部に上場
2011年	3月	" 第1部に指定
2012年	9月	安徽微納生命科学技術開発有限責任公司を子会社化 [現社名:大桐製薬(中国)有限責任公司]
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

#### 設備の状況

1949年 事務所・工場を新設

1971年 研究所を富山市に新設

※1985年同研究所を本社工場の隣接地に新設・移転

1979年 第一製剤棟を新設 1979年 原薬実験棟を新設

1982年 第一原薬棟を新設 1985年 第二製剤棟を新設

1986年 原薬包装棟を新設

1989年 第一物流センターを新設 1989年 第二原薬棟を新設

1993年 第三製剤棟を新設

1995年 第二物流センターを新設

2001年 第五製剤棟を新設

2001年 第三物流センターを新設

2003年 第二包装棟を新設

2007年 第三包装棟を新設

2008年 第六製剤棟を新設

2011年 厚生棟を新設

2014年 大桐製薬 (中国) に製剤棟新設

2014年 高薬理製剤棟新設

2014年 大和薬品工業㈱に原薬工場棟新設

2015年 第六原薬棟完成

1999年 第三原薬棟を新設

2007年 第五原薬棟を新設

2007年 第五物流センターを新設

2012年 第五原薬棟設備を増設

2015年 第三原薬包装棟完成

2016年 原薬工業化プロセス研究棟新設

2017年 高薬理R&Dセンター新設

2018年 第八製剤棟を新設

# 事業内容



[仕入先] 国内・海外メーカー等

原材料・商品の仕入



#### [連結子会社] 大和薬品工業株式会社 <原薬製造>

[連結子会社] Daito Pharmaceuticals America, Inc.

#### 「グループ会社]

千輝薬業(安徽)有限責任公司 < 中国での製造 > 安徽県旺医薬有限責任公司 < 中国での製造 >

#### [連結子会社]

大桐製薬(中国)有限責任公司 <中国での製造>

製品・商品の販売

製造受託

新薬向けとジェネリック医薬品向けの両方に 原薬・製剤を供給

#### [販売先]

- ・国内(大手・中堅新薬メーカー、GE\*1専業メーカー、OTC\*2メーカー、配置薬メーカー、外資メーカー)
- ・海外メーカー

国内医薬品メーカーの大半と取引

卸売業者

医療機関·薬局等

一般消費者(患者様)

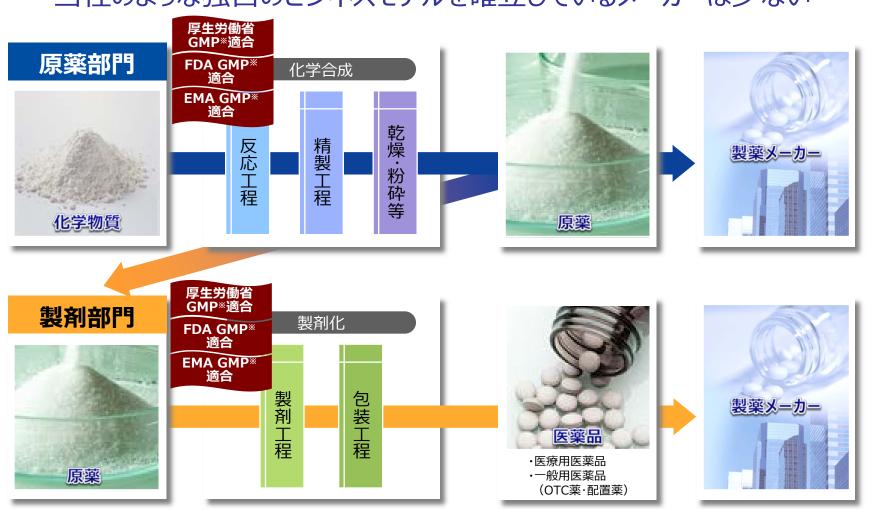
注1: "Generic"の略で、先発品の特許が切れた後、同じ成分で安価に販売される医薬品のことを指す。 注2: "Over the counter"の略で、医師の処方を受けずに販売・購入できる、大衆医薬品のことを指す。



# 原薬の製造・製剤の製造・原薬から製剤までの一貫製造

参入障壁が低い業界だが、

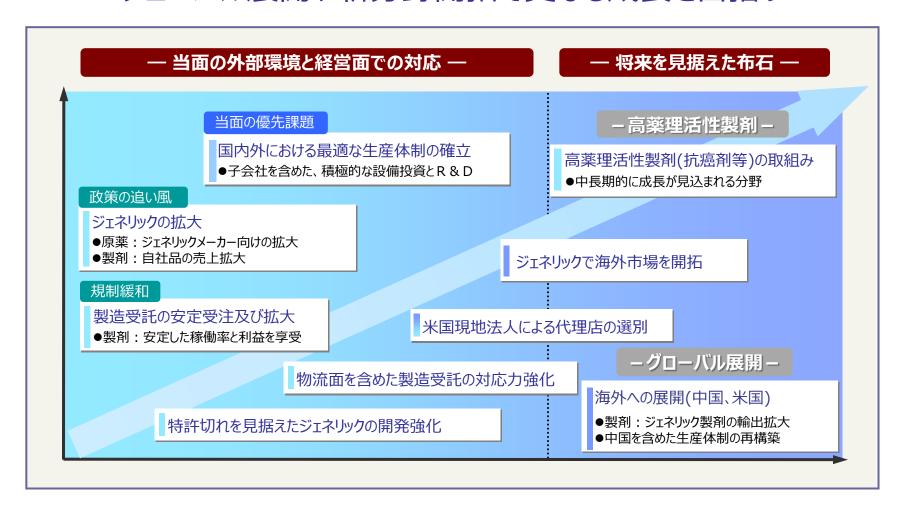
当社のような独自のビジネスモデルを確立しているメーカーは少ない



※注: 医薬品等の製造管理・品質管理基準。



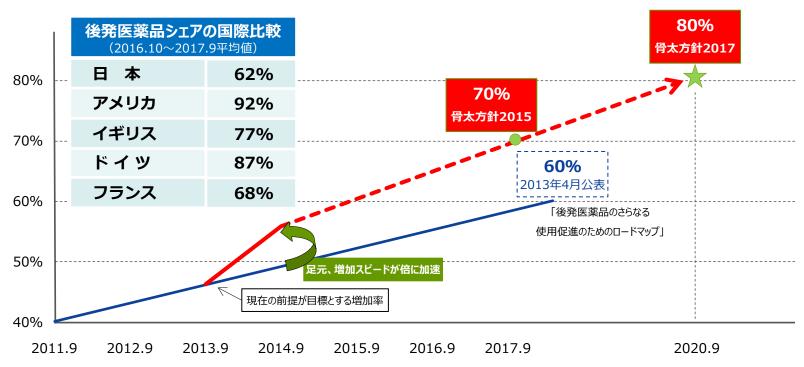
# 国内外での最適な生産体制構築に加え、 グローバル展開や新分野開拓で更なる成長を目指す







### ジェネリック医薬品の数量シェア目標



#### 数量シェア拡大に向けた追加措置候補

- ▶安定供給策
- ▶品質等に関する信頼性向上策
- ▶情報提供の充実策
- ▶診療報酬上の措置

#### 国民負担軽減策候補

- ▶ジェネリック医薬品の薬価算定ルールの見直し
- ▶長期収載品の保険制度による評価見直し

(出所) 骨太の方針2015、骨太の方針2017を基に作成



この資料は投資家の皆様の参考に資するため、ダイト株式会社 (以下、当社) の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、説明会開催日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資を行う際は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



ダイト株式会社 経営企画室

TEL: 076-421-8755 FAX: 076-421-5691